

相模原市及び相模原市米軍基地返還促進等市民協議会による要請結果について

次のとおり実施しましたので、お知らせします。

- 1 日時** 令和3年12月1日(水) 午前10時～午後3時
- 2 要請者** 相模原市
相模原市米軍基地返還促進等市民協議会
(会長：相模原市長、
副会長：寺田弘子市議会議長・竹田幹夫市自治会連合会会長・
川崎晴彦連合神奈川相模原地域連合議長)
- 3 要請内容** 基地の返還等、米軍基地問題に関すること

4 要請先等

要請先	対応者
在日米陸軍司令官 (キャンプ座間)	在日米陸軍基地管理本部司令官 クリストファー・トムリンソン大佐
在日米海軍厚木航空施設司令官 (厚木基地)	伊東 俊之 渉外担当民事部長、 グレッグ・ミッチェル広報副部長
駐日米国臨時代理大使	ザカリー・ハーケンライダー安全保障政策担当参事官
外務大臣	小田原 潔 外務副大臣
防衛大臣	中曾根 康隆 防衛大臣政務官

※横田基地に対しては、第374空輸航空団司令官 アンドリュー・J・キャンベル大佐宛てに要請書を郵送

5 対応者の主な発言

【キャンプ座間】

- ・要請内容については、適切な政府レベルで扱うよう在日米軍に伝達する。
- ・相模総合補給廠の第38防空砲兵旅団の件に関して、皆様の懸念は理解している。また、同旅団司令部へ訪問し任務などの説明を受けたいという要望も承知している。正規のルートを通して皆様の要望を受け入れ、説明を行える機会を持てることを願っている。
- ・ヘリコプターの騒音について、南関東防衛局及び神奈川県から入学試験や日本の祝日はヘリコプターの運用を控えてほしいという要望を定期的に頂いている。できるかぎり要望に応えられるよう努力をしている。また、今後も要望に応えられるよう努力するとともに軍用機の安全確保を行っていく。

・ゴルフボールの件について、私たちはゴルフボールが防球ネットを越えて飛び出す事案を大変深刻に受け止めている。事故を未然に防ぐために、今後も相模原市及び南関東防衛局と協力していく。

・訓練について、私たちの兵士は日々訓練を行っている。これはいかなる有事及び人道支援・災害救援活動に備えるためである。日米安全保障条約に対する私たちの任務をご理解いただきたい。

【厚木基地】

- ・本日の要請内容については、司令官及び関係機関に伝え、情報共有を図っていく。
- ・ヘリコプター、オスプレイ飛行の要請については理解している。運用については適切に行われており、安全な運用に務めている。
- ・飛行隊による部品落下についても大変真剣に取り組んでいる。関係機関と航空機事故等についての連携を強化している。

【米国大使館】

- ・米軍基地の地元市とは良い関係を築きたい。また、駐留に際して、市は重要な役割を果たされている。大使館として感謝している。
- ・米軍の駐留が市民生活に様々な影響や支障を生じさせていることは理解している。米軍は、地元への影響を最小限に抑えるように働いている。
- ・大使館として、地元の方々の意見を伺うことは重要であり、今日のように課題を伝えてくれるのは大切である。今日の要請・意見の内容は臨時代理大使に伝えるとともに、ワシントン並びに米軍のカウンターパートにも報告する。

【外務省】

- ・返還4事案の早期実現に向けて、防衛省と連携して取り組む。
- ・第38防空砲兵旅団司令部は、司令部のみの駐留であり、当該司令部の駐留に当たり、地元への影響等、十分配慮するよう、米側に求めていく。
- ・米軍機による騒音問題については、騒音規制措置に係る日米合意事項の順守をはじめ、騒音による影響が最小限となるよう求めていく。
- ・オスプレイを含め、米軍機の運用については、安全性の確保を万全にすることが重要であり、米側にしっかり求めていく。
- ・基地の運用に当たって、安全確保については、最優先の課題として、日米両政府で協力して取り組んでいく。

【防衛省】

- ・返還4事案については、いずれも相模原市の道路整備に寄与するものであり、渋滞緩和のみならず、緊急車両のアクセス向上や住民の方々の安全確保に資するものと理解している。今後、返還に向け、市の意向も踏まえつつ、米側と協議していく。
- ・第38防空砲兵旅団司令部は、ハワイに所在するミサイル防衛部隊の一部であり、経ヶ岬通信所や車力通信所等の下位の防空部隊に対する指揮等を行い、ミサイル防衛能力を向上させるものと承知している。司令部の駐留に際しては、地元の皆様に十分配慮し、最大限の安全対策をとるよう日米で協力していくとともに、地元の皆様の御

理解と御協力を頂けるよう、今後とも誠意を持って丁寧に対応していく。

・キャンプ座間及び相模総合補給廠周辺の米軍ヘリコプター騒音については、米側においても、できる限り高度を上げて飛行する等、周辺住民の方々に配慮しながら飛行しているものと承知しているが、引き続き、米側に対し、安全面に最大限配慮しつつ、周辺住民の方々に与える影響を最小限にとどめるよう求めていく。

・オスプレイの飛来情報については、米側から、運用上及び安全上の理由から提供が困難である旨、説明を受けている。防衛省としては、引き続き、米側に対し、可能な限り適切な情報提供に努めるよう働きかけるとともに、米側から情報が得られれば、関係自治体の皆様にお知らせする。

・ゴルフボールの飛び出し防止について、今年度実施した弾道シミュレーション調査を踏まえ、改善に向け米側と協議していく。

問合せ先 基地対策課 電話 042-769-8207(直通)
